

「循環型モデル」 バイオ潤滑油を用いて持続可能な 脱炭素社会へ貢献

株式会社アブラックス



2023年7月28日(金)

会社名	株式会社アブラックス
本社	愛知県豊橋市神野新田町字ハノ割7番
工場	愛知県豊橋市神野新田町字ハノ割12番
生産能力	2,160kL/年（180kL/月→ドラム缶約900本分）
代表取締役	板橋 正浩
設立	令和4年（2022年）5月2日
資本金	1,000万円
事業内容	環境製品の研究、製造
主な製品	工業用バイオ潤滑油、農業・林業用生分解性オイル

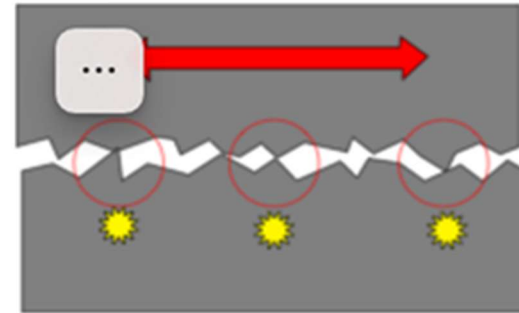


【潤滑油の役割って？】



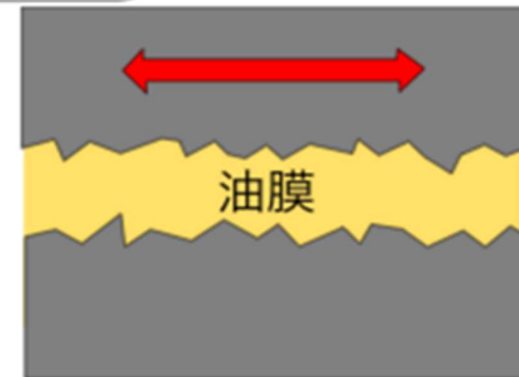
潤滑油で**油膜**を作って
金属同士の**直接接触**を防ぐ

潤滑油なし



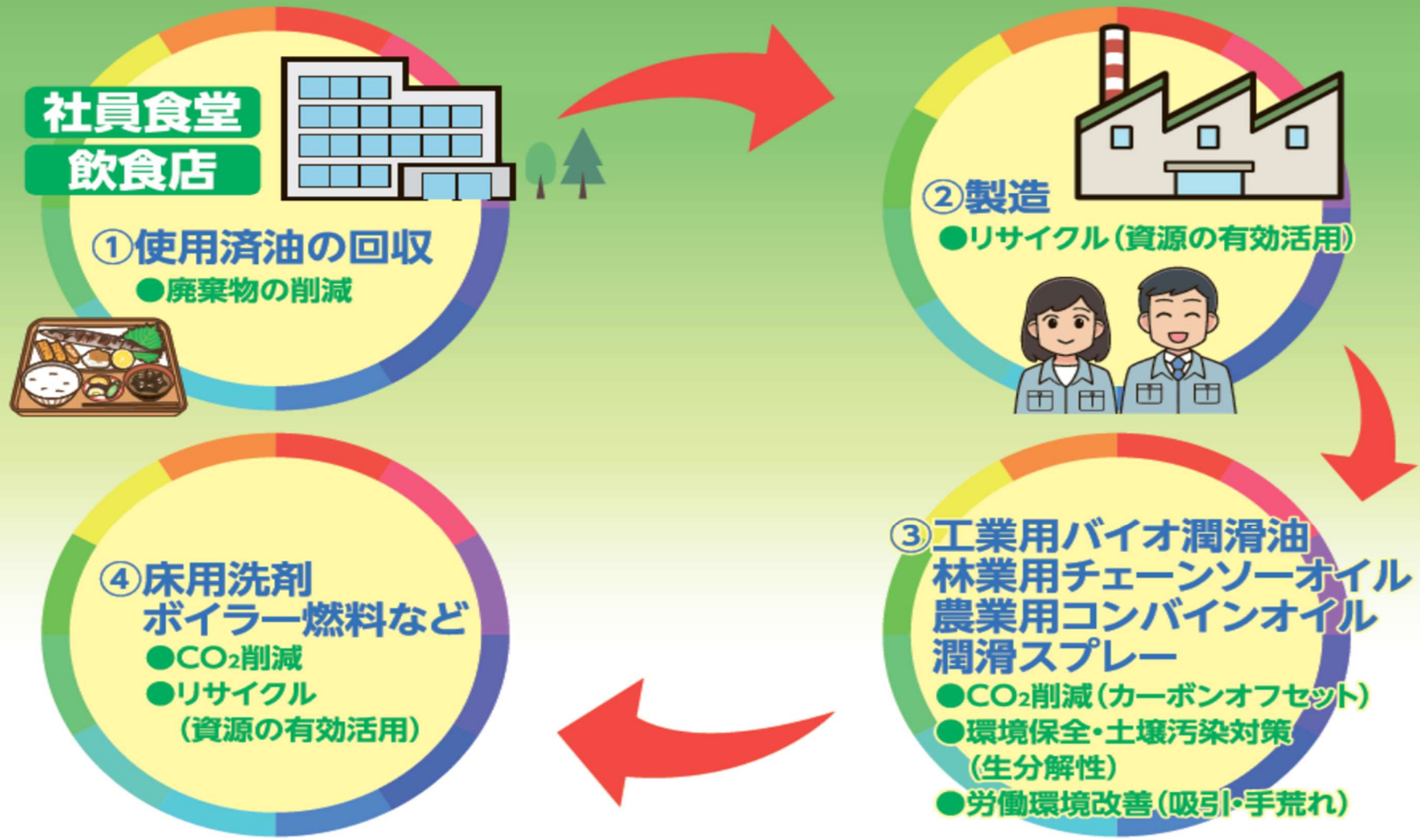
金属同士の接触で**摩擦発生**

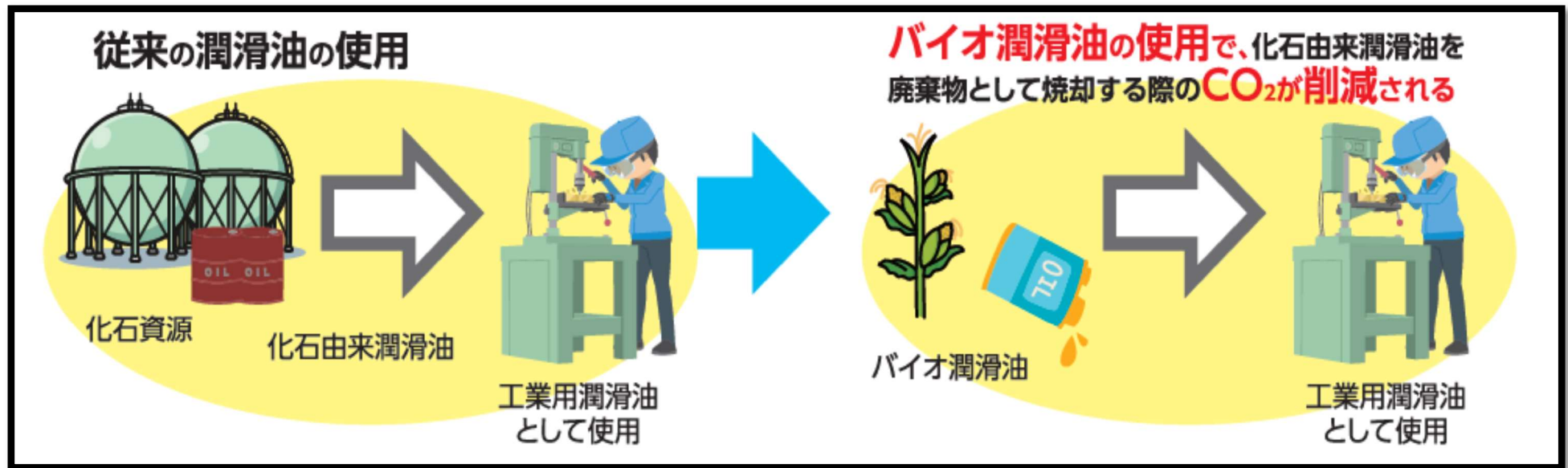
潤滑油あり



油膜の力で**摩擦低減**

新しい循環システム





新油ではなく廃棄物由来バイオマス原料とすることで新たな資源循環を創出

〈市場〉

- ・主にターゲットとしている「機械油」「金属加工油」

単位：kL

年	ガソリン エンジン油	ディーゼル エンジン油	その他 車両用	船用 エンジン油	機械油	金属加工油	電気絶縁油	その他 特定用途向け	その他	合計
2019	381,079	227,353	235,054	134,591	319,019	151,787	57,376	551,498	277,355	2,335,112
2020	363,317	210,878	206,643	128,605	279,742	129,814	53,533	478,246	234,626	2,085,404
2021	369,140	221,484	218,518	121,444	312,419	144,656	54,821	521,071	275,769	2,239,322

資料：資源エネルギー庁 資源・エネルギー統計年報，資源・エネルギー統計月報

経済産業調査会 製造業者・輸入業者品種別，月別消費者・販売業者向販売及び在庫内訳

》 廃食用油を再利用した実証実験を開始



タップ荒ねじ転造の様子

オーエスジーでは、全国初となる廃食用油を工作油として再利用するための実証実験をタップ生産工場である八名工場の荒ねじ転造加工(前工程)で開始しました。改良を重ねながら、実証実験を進めており、今後は切削工程にも活用を広げる予定です。

廃食用油は鉱物油よりも引火点が高いため、火災発生リスクが軽減します。また植物由来のため、作業者にやさしく、労働環境の改善にもつながることが期待できます。廃食用油の再利用を進め、鉱物油の使用を少しずつ減らすことで、人と環境にやさしい取り組みへ挑戦しています。

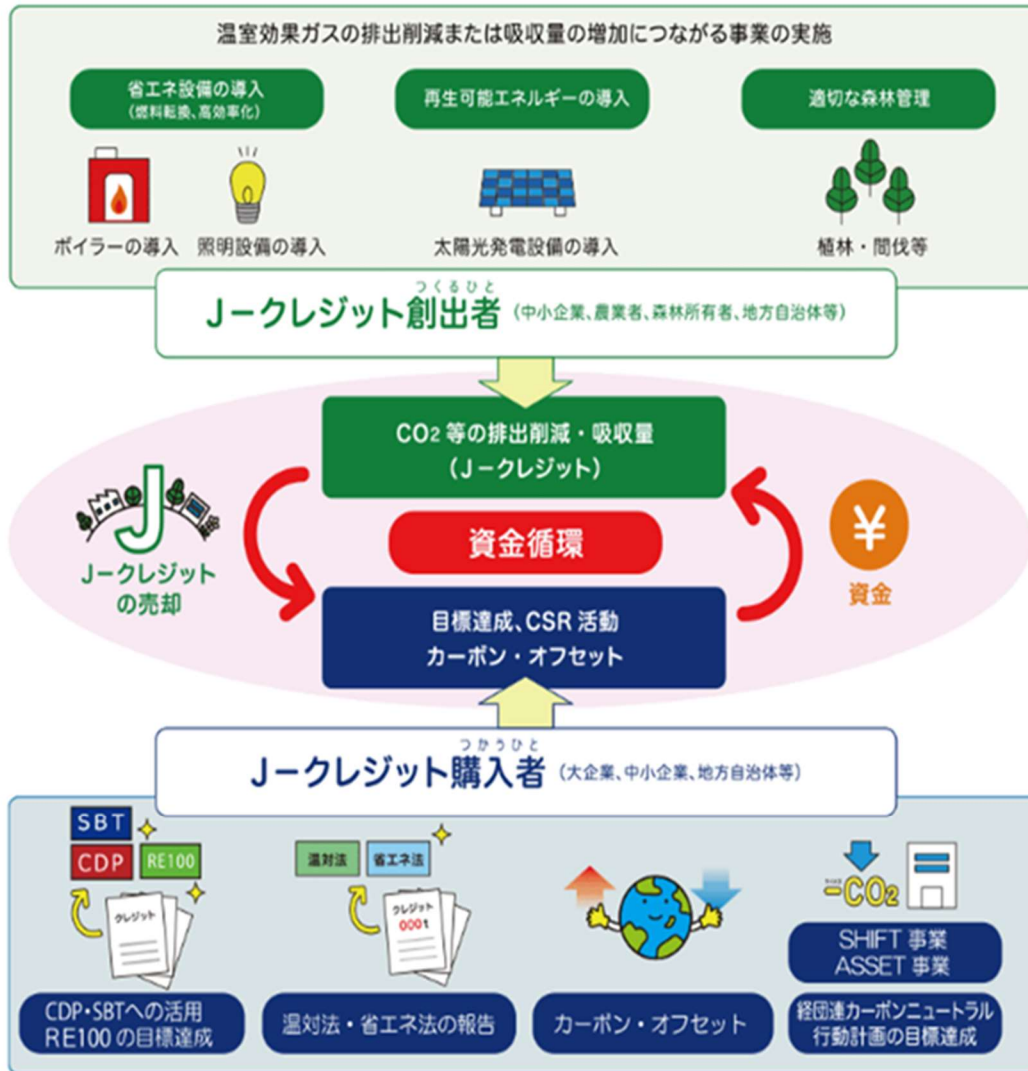


転造前(上)転造後(下)

〈試作品調査〉

トライ先	切削加工油	設備作動油	設備摺動面油	使用可否	製品ライフサイクル (油劣化)
O社 (愛知県、総合切削工具メーカー)	★			○	△
M社 (愛知県、自動車部品製造)	★			○	△
			★	○	○
O社 (愛知県、自動車部品製造)		★		○	○
			★	○	○
N社 (岐阜県、機械部品製造)		★		○	○
			★	○	○
O社 (愛知県、鋼製品製造)	★			○	△
T社 (愛知県、自動車関連を中心とした製造)		★			評価中

バイオ潤滑油1,000Lの導入⇒最大約2.1tonのCO₂排出量削減効果



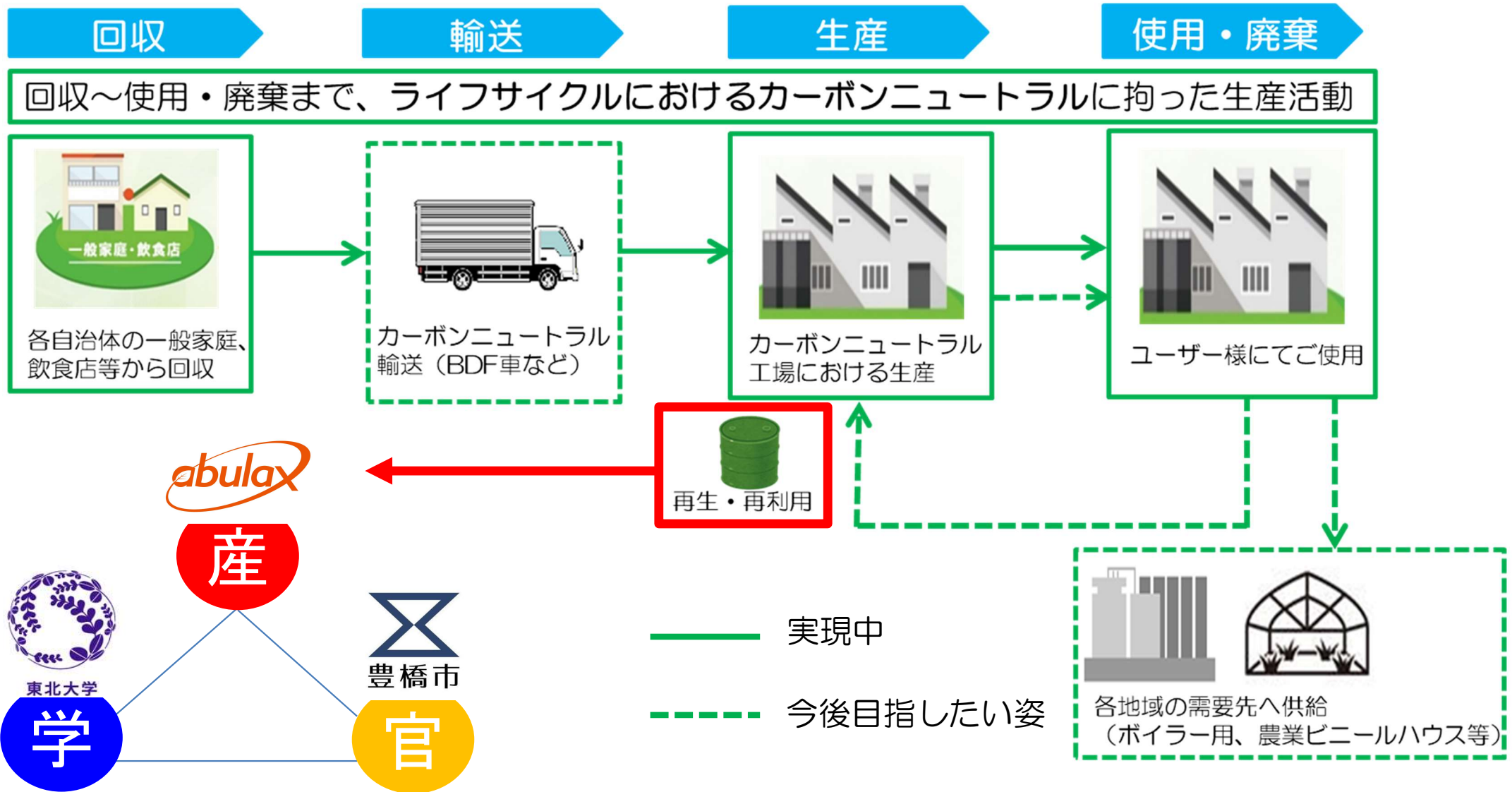
<情報開示>

- ・排出量情報
- ・目標設定・達成状況
- ・削減活動進捗状況



or 自社の統合報告書等

CO₂排出量削減効果を製品付帯とした新たな価値の訴求



再生・再利用等についての課題解決に向けて産官学連携